

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

12月号の目次

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1 特色ある取組 | (11) 迫桜高校 | (3) 古川高校 |
| (1) 角田高校 | (12) 登米高校 | (4) 古川黎明高校 |
| (2) 名取高校 | (13) 登米総合産業高校 | (5) 松山高校 |
| (3) 泉館山高校 | (14) 一迫商業高校 | (6) 鹿島台商業高校 |
| (4) 仙台東高校 | (15) 石巻好文館高校 | (7) 石巻工業高校 |
| (5) 仙台第三高校 | (16) 石巻西高校 | (8) 気仙沼向洋高校 |
| (6) 宮城第一高校 | (17) 志津川高校 | (9) 東松島高校 |
| (7) 松島高校 | | |
| (8) 富谷高校 | 2 学校紹介 | 4 お知らせ |
| (9) 加美農業高校 | (1) 蔵王高校 | (1) 工業高校 |
| (10) 古川工業高校 | (2) 柴田高校 | |

1 特色ある取組

(1) 角田高校 <国際交流と総合的な探究の時間>

本校は、例年3月にドーバー高校とアメリカ短期交換研修を実施しています。現地の高校に通いながらホームステイをしたり交流会に参加したりします。今年度は、福島県プリティッシュ・ヒルズでの語学研修やドーバー高校とのオンラインでの交流を実施します。生徒の英語力と国際理解力を養う良い機会となっています。

総合的な探究の時間では、今年度から「角高夢Project」と命名し、「自己理解」「地域連携」「キャリアデザイン」の3本柱とした生徒一人ひとりが自己の課題や地域の課題などを意識しつつ、課題解決に向けて取り組む活動を実施しています。

さらに、8月に行われたJAXA主催の「角田エアロスペーススクール2021」に地元枠として生徒2名が参加しました。宇宙ロケット開発や宇宙ゴミなど講義や見学、実習、交流会を通して、研究に対する視野の広げ方や授業で学んだ知識の活かし方について刺激を受けていたようです。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(2) 名取高校

〈令和3年度 宮城県高等学校家庭クラブ連盟 研究発表大会〉

10月28日(木)本校大講義室において、今年度の研究発表大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症感染防止のため、午前のホームプロジェクトの部(5校)と、午後の家庭クラブ活動の部(6校)に分かれて発表をし、本校家庭クラブ役員が全体の企画運営を担当しました。

コロナ禍の中、思うような活動ができない状況であったにもかかわらず、発表した生徒、学校ともに工夫を凝らした研究活動報告がなされ、充実した時間となりました。

本校の結果は以下のとおりです。

○ホームプロジェクトの部 優秀賞

「妹と一緒にのおもちづくりをとおして」

普通科1年 坂本 凛さん

○学校家庭クラブ活動の部 最優秀賞(東北ブロック大会出場)

「もし学校で災害が起こったら

～学校が避難所になった時を想定して～」

名取高校 家庭クラブ

学校家庭クラブ活動の部で3年ぶりに東北ブロック大会(青森)へ出場することとなりました。東北大会はリモートで行われるため、現在、大会用の発表動画を準備しているところです。充実した発表ができるよう、そして全国大会出場を果たせるよう、頑張りたいと思います。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(3) 泉館山高校 <イルミネーション>

12月8日(水)夕刻、生徒昇降口前ロータリーにて、イルミネーション点灯式が行われました。イルミネーションは、生徒会や有志実行委員によって、例年この時期に行われている恒例行事です。物寂しくなる冬のはじめ、様々な色の電飾に彩られた校舎が夜空に映え、校舎は幻想的な雰囲気になります。今年は昇降口前だけでなく中庭にも装飾を施し、パワーアップしたイルミネーションとなっています。

点灯式では、実行委員長のおあいさつの後、カウントダウンを行い点灯の時を迎えました。恒例の吹奏楽部による演奏も行われ、集まった多くの生徒は大いに盛り上がりました。

今年のテーマは、『悠々閑適』(ゆったりとして、心静かに楽しく過ごすこと)。イルミネーションの華やかで温かな光は勉強や部活動の疲れを癒やし、館高は和やかな雰囲気になります。また、生徒の自主的な活動は、仲間との信頼関係を深め、新しい自分の発見とともにこれからの生活への活力や励みにつながっています。

本校では、この他にも生徒が主体となり実施する行事が多くあります。中学生の皆さん、館高で楽しく充実した高校生活を送ってみませんか。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://izumit-h.myswan.ed.jp/>

（４）仙台東高校 <グローバルウィーク開催>

本校では、毎年11月にグローバルウィークを開催し、国際講演会、異文化理解講座、国際協力活動などのイベントに参加したり、ワークショップを通して世界のニュース、地球的諸問題などに関する見識を広げたりすることで、学校全体で国際理解に対する意識を高めています。



11月9日（火）に行われた国際理解講演会では、ニュージーランド大使館駐日代表の北岡美佐子氏による講演を聞きました。本校とニュージーランド・シンガポール・インドネシア、東京をZoomで繋ぎ、リアルタイムで交流しました。

10日（水）には、JICAから派遣された仙台在住の外国人の方をお招きした異文化理解講座が行われました。日本との共通点や相違点に気付き、活発な質疑応答が行われました。

11日（木）にSDGs理解講座が行われ、NPO法人GIFTによるSDGsカードゲームを通して見識を深めました。ゲームを進めると世界がどんどん変わっていくことに気付き、瞬く間に時間が過ぎていきました。

最終日の12日（金）はオンライン海外交流で、オーストラリアとニュージーランドをZoomで繋ぎ交流しました。吹奏楽部による演奏や英語海外文化部を中心にした学校紹介などを盛り込み、交流の予定時間を大幅にオーバーするほど熱心な交流が行われました。この他、食堂ではグローバルウィーク限定の各国料理が提供され、生徒達は舌鼓を打っていました。

充実したグローバルウィークとなりました。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://higasi-h.myswan.ed.jp/>

(5) 仙台第三高校

<三高探究の日 ～グローバルサイエンス (GS) フェスタ～>

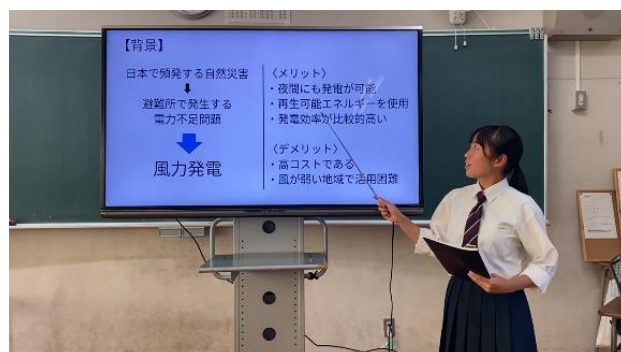
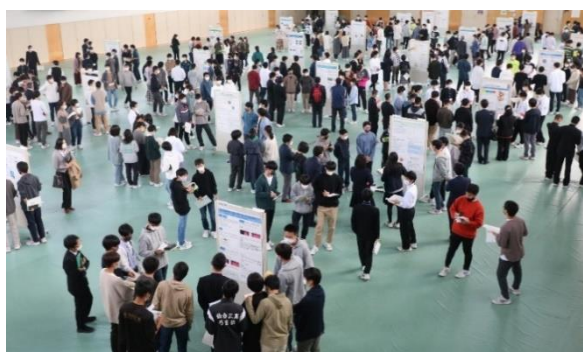
令和3年10月20日(水), 仙台第三高校を会場に「三高探究の日 ～GSフェスタ～」が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により, 例年のスタイルを変更して実施しましたが, 今年度は更に改良を加えてオンライン&リアルのハイブリッド方式で実施しました。

本校理数科の課題研究, 普通科の探究活動, 自然科学部の研究活動については招待校の山形東高等学校と共にポスター発表を行いました。また, 発表内容は事前に動画で収録し, WEB上で閲覧できるようにしました。

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校や参加校には, 学校間交流をZoomによるオンライン口頭発表という形式で参加していただきました。会場だけでなく, Zoomでつながった他校からも質問があり, 別な場所にいながらも活発な意見交換がなされました。

本校理数科の課題研究班は, 東北大学グローバルラーニングセンター (GLC) の留学生と県内のALT, CIR総勢39名の講師の方々に対して, 英語によるスライド発表を行いました。研究内容を伝えるために表現方法を工夫して発表し, 質疑応答では質問者の発言に耳を傾け, 英語を用いて堂々とディスカッションをしていました。講師の方々には来校しての参加とZoomでの参加の2通りの方法で参加しましたが, まるで1つの部屋にいるかのようにリアル・オンラインどちらも活発なディスカッションとなりました。

今回のGSフェスタでは, 発表についての感想や質問のコメントもWEB上に入力していただきました。いただいたコメントに返信をするなど, 新たな交流を生むこともできました。



令和3年度 三高探究の日 GSフェスタ... ホーム 外部参加校 課題研究1~10 課題研究11~18 探究A 探究B 探究C 探究D 探究E その他

令和3年度 三高探究の日 GSフェスタ
WEB研究発表会 2021 秋
公開期間: 令和3年10月13日(水) ~ 10月27日(水)

宮城県仙台第三高等学校 令和3年度 三高探究の日 (GSフェスタ)

Welcome to Sanko Research Presentation Event! Please feel free to walk around this site and find interesting research topics!

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

(6) 宮城第一高校

<理数科（国際探究科・理数探究科へ）の取組>

理数科は令和4年度から国際探究科・理数探究科へと学科改編されます。ただし、理数科の取組は、理数探究科となっても継続される予定です。

5月「出前授業」。東北大学大学院情報科学研究科教授：乾健太郎先生，生命科学研究科准教授：小金澤雅之先生，データ駆動科学A | 教育研究センター助教：赤間怜奈先生に講演いただきました。

10月「施設見学会」。南蒲生浄化センター，宮城県農業・園芸総合研究所，東北大学多元物質科学研究所，東北大学材料科学高等研究所，東北大学電子光理学研究センターに訪問，最新の研究や機器に触れました。

11月「ミヤイチ・キャンパスⅠ」。東北大学大学院生サイエンス・エンジェルの皆さん（理学・情報科学・農学・生命科学・医学・歯学）に学科の研究や勉強の仕方など，様々お話しいただきました。さらに「理数科講演会」として，東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻教授：須賀利雄先生，東北大学大学院情報科学研究科教授：伊藤健洋先生に講義をいただきました。

1月「プロフェッショナルトーク」。仙台うみの杜水族館から魚類チーム，株式会社山下設計から設計管理部建築担当，株式会社I F Gから研究開発部の方々の他，理系分野の専門家をお招きし，お話をいただく計画でいます。

他にも地域フィールドワーク，希望制のつくば宿泊研修や大学研究室訪問など盛りだくさんです。

宮城第一高校に入学を希望される中学生の皆さんも，国際探究科・理数探究科で興味関心を高めてくれる取組に参加してみませんか？



施設見学会で最先端の研究に触れる



施設見学会で最先端の研究に触れる

< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

(7) 松島高校

〈松高おもてなしオンラインツアー2021を実施しました〉

令和3年11月6日(土)に実施しましたオンラインツアーは、学校設定科目「観光実践(観光科第3学年)」の授業において、新しい観光商品としての企画・実践・検証を経て、宮校観光サービス株式会社様に御協力を賜り商品化することができました。

生徒は6チームに分かれて「観光ガイド」、「松島武将隊演舞」、「SDGs藻場再生活動紹介と体験」、「どんぐり松ちゃん人形制作」、「パンフレット・チケット制作」、「Zoom撮影」を実施しました。

御客様から、「準備から運営まで、大変素晴らしく価値のある体験で是非行きたくなりました!紅葉が綺麗な景色や初めて知った学びなどもあり大変ためになりました。クイズ大会や感想を求められ楽しく体験できました」、「手作りチケット、メッセージカード、パンフレット、マスコットはとても暖かみを感じました。丁寧な案内がとても分かりやすかったです。撮影もとてもキレイでプロ並みに映っていました」と御感想をいただきました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(8) 富谷高校 <SDGs 課題研究講演会>

富谷高校では、2学年の総合的な探究の時間（通称T-time）においてSDGs課題研究を行っています。今年度も課題研究の共通テーマとして「まちづくり」を設定して研究を進めるために、地域の諸課題について学ぶ機会を設けています。10月7日（木）に8つのテーマ（「富谷市養蜂事業について」「水素実証事業について」「民俗ギャラリーとしんまち探訪」「こども食堂の運営について」「地域で起業すること」「ひとりの力を信じよう～『今あるもの』で人と地域の未来をつくる～」「南三陸のいのちをめぐるまちづくり～生ゴミ循環編～」「海苔と自然～これから先の食産業～」）で8名の方を本校にお招きし、地域の課題に対して現場の方々がどのように対応し解決しているのかについて講演していただきました。

富谷高校は、今後もこのような活動を通して、生徒の主体的に地域の問題解決に取り組もうとする姿勢を養い、地域社会に貢献できる人材を育てていきます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

(9) 加美農業高校 <寮祭の紹介>

本校には寮があり、寮生は規則正しく共同生活をしています。11月には「寮祭」があります。寮祭は夜に行われ、寮生全員が楽しめる行事です。スポーツ大会、お絵かき伝言ゲーム、気配斬りなどいろいろな催し物のクライマックスに火文字を行います。火文字は、3年生の寮生が中心となり、約2週間かけて稲わらを編んでつくり、校訓である「耕心」の文字を燃やします。この他にも運動会など様々な交流行事も行っています。

加美農ライフは農業学習だけでなく、たくさんの行事もあります。みなさんも一緒に楽しんでみませんか。

学校のウェブサイトでは学校行事や学習の様子を公開しています。是非御覧ください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(10) 古川工業高校 <電気電子科 卒業後を見据えて>

本校電気電子科の卒業後の進路は、就職約7割、進学約3割で、毎年ほぼ同じ割合になっています。進路については、本人・保護者の希望を尊重しています。

入学後、1年次から卒業後の進路に向けた様々な行事を設定しています。学年毎に行う職場見学会。実際に働いてる現場を見学することで、仕事に対する意識付けを行っています。1年次では大学見学も行います。

外部講師を呼んでの資格に関する電気工事講習会。大崎市電気工事組合の方々による電気設備の施工体験を実施し、電気を安全に取り扱うための意識を高めてもらい、卒業後の進路活動に役立てています。

電気は、今の世の中では必要不可欠なものと言えます。電気電子科では、卒業後の進路に向けての意識付けとともに、電気を安全に取り扱う学習を行っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(11) 迫桜高校 <シクラメン販売>

11月27日(土)本校農場にて、シクラメンの販売が行われました。アグリビジネス系列の生徒が丹誠込めて育てた花は、毎年人気です。当日は、風が冷たく、朝は雨も降っていてあいにくの天気でしたが、開店前から売り場の前に行列ができる盛況ぶりでした。訪れた方々は、色とりどり、種類も豊富な中から、気に入ったものを先を争うように選んで、2鉢、3鉢と購入していました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(12) 登米高校 <創立100周年記念>

10月29日(金)に、本校創立100周年記念式典が挙行されました。

本来は昨年行われるはずでしたが、コロナ禍により延期となり、規模も縮小して行うこととなりました。

地元登米謡曲会の皆様による謡と舞を披露いただき、厳かな雰囲気でも式典が始まりました。式中の本校生の姿勢も素晴らしく、静謐な空気を保っていました。最後は生徒会長の伊邊誉くんによる立派な謝辞もあり、非常に素晴らしい式典となりました。

伊邊くんの謝辞にもあったとおり、今後も登米高校は伝統を受け継ぎ、皆様の支えをいただきながら地域と共に発展を続けていきたいと思っております。

また、100周年記念品として、参加者等にはオリジナルデザイントートバッグ・タオル・クリアファイル・醤油まころんが配布されました。醤油まころんは地元の老舗醤油店である海老喜さんの和風スイーツで、本校の登録商標であるto meマークのデザインラベルが使用されているコラボ商品100周年記念バージョンです！



< 学校のホームページはこちらです >
<https://tome-h.myswan.ed.jp/>



(13) 登米総合産業高校 <各科の取組>

本校は、県内公立高校で唯一の福祉科を有し、生徒は3年間で国家資格である介護福祉士の取得を目指しています。本来であれば、校外福祉施設で実習を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から校内実習に代わり、地域の施設に御協力をいただき、施設職員を学校に招き指導していただいています。

加えて、農業科、機械科、電気科、情報技術科、商業科においても地域の環境活動の推進を目的として「カーボンニュートラルと再生可能エネルギー」と題して環境講話を実施したり、企業見学や専門インターンシップを実施したりして、各学科で学ぶ知識や技術を深め、コロナ禍の中ではありますが、実際に現場で働く方々の視点や考えに触れながら、日々頑張っています。

< 学校のホームページはこちらです >
<https://tomesou.myswan.ed.jp/>



(14) 一迫商業高校

<地域と連携した取組（栗原版デュアルシステム）>

平成17年度から文部科学省の指定を受け、学校の勉強と企業への企業実習・起業家研究・販売実習を通して専門的な知識と技能を習得するデュアルシステムを導入しております。平成20年度に富県宮城グランプリ特別賞に輝き、平成24年度にキャリア教育優良学校で文部科学大臣より表彰状が授与されています。

栗原版デュアルシステムの3つの取組

<企業実習>

6月～11月までの長期（16回）にわたり実習を行います。地域産業と連携し、職業についての知識や技能を身に付け、地域産業の担い手となる将来優秀な人材の育成を目指しています。職業人として必要とされる創造性や積極性・協調性等を実習を通して学んでいきます。



企業実習・薬王堂一迫店



<起業家研究>

自分が起業するならどうすればいいのか。企業が抱えている課題を教材として提供していただき、最適な課題解決方法を考え出します。話し合いを積み重ね、課題解決能力を高める学習です。起業家の理念や経営方針を理解し、問題点を洗い出し、高校生のフレッシュな視点で提案しています。

起業家研究・もちっ小屋でん

<販売実習>

消費者の求めている商品・サービスを調査し、実際に商品の仕入れ・販売・広告作成・会計処理の全てを学びます。JA新みやぎ栗っこの農産物直売所「あやめの里」の店舗前を借り受け、「一商チャレンジショップきてけさいん」を行います。商業高校ならではの取組でもあり、地域の皆様から大好評です。今年度は11月4日（木）と11日（木）の2日間行いました。



販売実習・あやめの里店舗前

<学校のホームページはこちらです>

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>

(15) 石巻好文館高校

<総合的な探究の時間 ～SDGs 探究活動～>

本校の総合的な探究の時間「甲斐ある人といわれたいむ」において、10月6日（水）に「SDGs事例実践講話」を実施しました。本校の1年次における探究の時間では、大きく「在り方生き方研究」と「SDGs探究活動」の2つのテーマに取り組んでいます。今回の活動はそのうちの「SDGs探究活動」の一環として実施されたもので、当日は一般社団法人フィッシャーズジャパンから渡部更夢さんをお招きして、水産業を中心とした石巻市周辺におけるフィッシャーマンズジャパンの取組とSDGsの目標との関わりについての講話を聞きました。身近にありながらなかなか関わることの少ない水産業について、その問題点と解決に向けての取り組み、それがSDGsの目標につながっていくことをわかりやすく説明してくれました。生徒たちは、メモをとりながら皆熱心に聴いていました。

その後、グループに分かれて地域に対してSDGsの目標を達成するために何をしたらよいかを考えポスターにまとめ、11月24日（水）に各クラスで発表会を行いました。どのグループからも良い提言がたくさん出され、地域の認識を再確認できた活動でした。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

(16) 石巻西高校<主体的に学び、自らの考えを表現するために>

本校は、県内で唯一、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」指定校として、社会人インタビュー（街ライブラリー）、インターンシップ（街ミッション）、課題探究型フィールドワーク（街クエスト）などに加え、地域課題を理解し解決に向けて探究するSDGs地域課題研究に取り組みながら、「持続可能な未来を創造する人材」を育てています。協働を生む「多様性の土壌」（個の尊重）や挑戦の連鎖を生む「安心・安全の土壌」（失敗の許容）などの「学びの土壌づくり」を通して、対話力・共感力・合意形成力を身に付け、地域・社会貢献意欲あふれる将来の地域のリーダーとなる人物の育成を推進しています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://inisi.myswan.ed.jp/>

(17) 志津川高校 <インターネット通販で地域活性化>

志津川高等学校情報ビジネス科2年生では毎年、「電子商取引」という授業で、インターネット通販の仕組みについて学び、実際に地元・南三陸町の特産品をひとつの「パック」として販売します。震災10年後を迎えたいま、さらなる復興に向けて、買ってくださった方、町の方、すべての方々が笑顔になるパック販売を目指し、南三陸町の商品について現在研究中です。1月に販売を開始する予定ですので、みなさんに喜んでいただけるよう、頑張ります。

また、今年度は通販サイトの仕組みや運用方法などを実践的に学んでいます。「どうしたら、私たちが販売する通販サイトにお客さまが足を運んでくれるのか…」通販サイトの認知度を上げるため、学んでいる商業科目の知識や技術をフル活用しながら取り組んでいます。こちらの実践内容についても、乞う御期待です！

毎年、北は北海道から南は沖縄までたくさんの方々から御注文をいただき、たいへん感謝しております。志津川高校情報ビジネス科、まだまだ走り続けます！引き続き、よろしくお願いいたします。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sizugawa-hs.myswan.ed.jp/>

2 学校紹介

(1) 蔵王高校

<「福祉」の授業が充実

～「介護職員初任者研修」の修了資格取得を目指して！>

蔵王高校では、高齢化社会に対応し、地域に貢献できる人材の育成を目指して、2年生から選択科目として「福祉」の授業を設定しています。2、3年生で介護職員初任者研修の科目を学び修了試験に合格すると修了資格を取得することができます。平成30年度では8人、令和元年度も8名、令和2年度は3名が修了し、それぞれが資格を生かして福祉施設などに就職をしました。授業で基礎的な生活支援技術を学び、夏休みには、施設実習や訪問介護の同行実習を体験します。実際の介護の現場で得られる学びは、貴重な財産です。

蔵王高校では進学、就職等のあらゆる生徒のニーズに応えるためのカリキュラムを用意しています。さらに、少人数であればこそ一人ひとりに対して丁寧な指導をすることが可能です。落ち着いた環境の中で、優しい先輩たちや級友たちと一緒に、あなたも学んでみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 柴田高校 <学芸部紹介>

現在、本校の学芸部は、音楽（吹奏楽）・音楽（軽音楽）・家庭・美術・演劇・囲碁将棋・書道・茶華道・サイエンスの9つの部が活動しています。今年度は、昨年度に続いて書道部の大会入賞、さらに、演劇部もコンクールで優良賞受賞、茶華道部の「花いけGo!」東北大会出場など、多くの活躍を見せています。その他、文化祭時には吹奏楽部による演奏、家庭部による手芸品の製作など、盛んに活動しています。

このように柴田高校は運動部だけではなく、学芸部においても精力的に活動し、一人ひとりの「夢実現」に向けて日々励んでいます。

みなさんも柴田高校であなたの夢を実現してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(3) 古川高校 <大学出前講座>

10月26日（火）に毎年恒例の1・2年生を対象とした大学出前講座を実施しました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で実施が危ぶまれていましたが、9大学、14名の先生方（一部オンライン）に御協力いただき、実施することができました。今年も午前と午後の2回、幅広い分野の講義が行われ、参加した生徒も皆熱心に受講していました。例年ならば各大学のオープンキャンパスに出向いて、直接大学の模擬講義を受講する機会がありましたが、多くの大学のオープンキャンパスがオンライン開催となり、大学の先生方の講義を受けるのが、この大学出前講座が最初という生徒がほとんどでした。受講前は、大学の授業を理解ができるのとは不安感を持っている生徒も多かったようですが、先生方に高校生向けにアレンジを加えていただいたこともあり、受講後の生徒の感想は非常に好評でした。また、先生方からのアンケートでも、生徒の受講態度は良好とのことでした。

ここで、生徒の感想を一部抜粋して掲載します。「法学は答えのない課題に答えを出すことで、難解であるがゆえに興味深く感じました。」「経営学は私たちの日常生活や他の学問にも通じるものがあると感じた。先生のお話にもあったように、効率的な受験勉強の計画を立て、部活動などでどこに力を入れるかを考えるのも戦略の1つだと思った。」「第一志望校がこちらの大学なので、合格できるよう全力で頑張ります。」等、1・2年生は今後の進路志望先の決定に向けて大いに刺激を受け、有意義な行事となりました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(4) 古川黎明高校 <生徒の活動について>

1 部活動等

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止措置による活動制限の中でも、部活動の活躍が目立ちました。北信越で行われた全国高校総体に陸上競技部となぎなた部が出場し、それぞれが宮城県代表として活躍しました。また、美術・陶芸部が日本黒板アート甲子園動画の部で最優秀賞を受賞するなど、各部活動で練習や活動に励み、数々の成績を残しています。



2 課題研究

2期目のSSH指定を受け3年目となりました。昨年度の経験を生かし、さらなる取組をしています。1年生は世界農業遺産の大崎耕土に関する研究に向けて、10月5日(火)に治水や利水といった水管理をテーマに蕪栗沼・品井沼・鳴子ダムの方分かれてフィールドワークを行いました。

2年生はグループ毎にテーマを設定して課題研究に取り組んでいます。1・2年生ともに2月の黎明サイエンスフェスティバルに向けて更に充実した内容となるように研究を進めています。昨年度から設置しているアドバンスコースでは、おおさき自由研究チャレンジ交流会で研究成果を発表するなど、地域の小中学生と一緒に探究学習の促進を図りました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

(5) 松山高校 <松高生の日日是好日>

松山高校普通科と家政科（調理・被服・保育コース）の生徒たちは、授業と2021年の秋の行事やシトラスリボンプロジェクトにも、楽しく前向きに取り組んでいます。



Citrus
Ribbon
PROJECT

← リボンの上をクリックして賛同して活動する様子を御覧ください。👤

授業風景 — 少人数でわかりやすい英語 —



OneUpゼミ — いろいろチャレンジ —



漬物講習会 — いい塩梅（あんばい） —



着付け講習会 — 自分で縫ったゆかたで —



保育実習 — かわいい園児たちと —



松高祭 — コモンホールコンサート —



文化祭で披露した先生方による合唱 松山高校応援ソング「夢に向かって」 です。

↑ クリックしてお聴きください🎧

< 学校のホームページはこちらです >
<https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>

(6) 鹿島台商業高校 <鹿島台商業で一緒に学びましょう！>

本校は、大崎市鹿島台に所在する学校です。地元大崎市だけではなく東北本線を利用して塩竈市、利府町方面からも多くの生徒が通学しています。

本校では、学んだ知識を地域に還元する活動が盛んです。例えば、今年度は地域の小学校の卒業アルバム制作に携わっています。また、JR東日本株式会社の「駅からハイキング」において旅行者を募り、鹿島台地域を観光案内しました。

このように、商業高校には多くの魅力があります。従来の学習でも、「簿記」や「情報処理」などの専門科目を学ぶことができます。本校では、基礎・基本の学習を大切にしておりますので、生徒は、在学中に多くの資格試験に合格しています。

中学生の皆さん、鹿島台商業高校で一緒に学びましょう！



駅からハイキング

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

(7) 石巻工業高校 <本校の部活動>

本校では部活動が活発に行われています。令和3年度はラグビー部が花園予選県大会で準優勝を果たしました。決勝で敗れたものの、強豪相手にトライを奪う活躍を見せました。サッカー部は常連校を押しつけて冬の選手権大会県大会ベスト8入りを達成し、強豪校と肩を並べました。普段から宮城県リーグ上位リーグでトレーニングを積み重ねた成果を発揮することができました。

本校では紹介した以外にも多くの運動部及び文化部が活躍しています。施設や設備に恵まれているとはいえませんが、科学的根拠に基づいたトレーニングを実践し工業高校ならではの様々な工夫を凝らすことにより力をつけてきています。もちろんオフザピッチでの過ごし方も大切にしており、心・技・体のそろった選手へと成長できます。

石巻工業高校で青春の1ページを部活動にかけてみるのもいいのではないのでしょうか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

（8）気仙沼向洋高校 <3つの学科紹介>

気仙沼向洋高校は情報海洋科・産業経済科・機械技術科の3つの科に分かれています。各科の特徴について私たち生徒会執行部が簡単に説明したいと思います。

<情報海洋科>

情報海洋科には2つのタイプがあります。1つ目は情報電子タイプです。さまざまな国家試験を受け、更に電気系の科目について学びます。

2つ目は海洋タイプです。このタイプは、短期航海と長期航海があり、長期航海では、45日間実習船に乗り、ハワイに行きます。

電気について学びたい人や船に乗ってみたい人は、情報海洋科で楽しい高校生活を送りましょう。

<産業経済科>

産業経済科には2つのタイプがあります。1つ目は食品開発タイプです。主に食品の安全や開発に関する事を学んでいます。また、水産商品の機能や幅広い環境問題についても勉強します。2つ目は食品ビジネスタイプです。主に食品に関わるビジネスのシステムを勉強します。簿記や広告、販売の仕組み、流通についても勉強できます。

私たちは経済やお菓子作りに興味のある人を待っています。

<機械技術科>

機械技術科では、工業系の内容を学び資格を取ることができます。2年生になると2つのタイプに分かれます。1つ目は、機械システムタイプです。ロボットに特化し、コンピュータ制御をより深く学ぶことができます。2つ目は、エンジンシステムタイプです。自動車に特化し、エンジン等に関する知識を学ぶことができます。

ロボットなどの機械やプログラムに興味ある人を待っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/>

(9) 東松島高校 < “ひがまつ” の行事紹介♪ >

(1) My Will! スピーKING

自分の趣味、みんなに伝えたいこと、学校生活の出来事、アルバイトの体験、夏休みの思い出等、生徒が自由にそれぞれの想いを発表する行事です。生徒の新たな一面を見ることが出来ました！

(2) 東松祭

今年度は「東松しか勝たん☆～楽しめるもんは全力で楽しめ！～」というテーマで行われました。全校制作のモザイク壁画、ステージ発表、ヒガ☆コレ（コスプレ・男装女装など何でもOK!）、ひがまつ歌うま決定戦など東松ならではの企画が盛りだくさんでした！

(3) Bon Café

Bon Café は生徒のコミュニケーション力の向上を目指し、ジュースやお菓子を食べながら、生徒同士や、生徒と教職員、外部団体の方と会話を楽しむ「居場所づくり」として毎月1回のペースで開催しています。さらにハロウィンやクリスマス、年度末イベントなどの催しも企画しています！



宮城県東松島高等学校HP



ホームページでブログ
“ひがまつライフ”を
日々更新中♪



< 学校のホームページはこちらです >

<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>

3 お知らせ

(1) 工業高校 <技術をもった人材を育て、未来の創造のために>

本校は工業の各分野で活躍する技術者の育成を目的として、「もの（技術）づくり、ひと（人材）づくり、ゆめ（未来）づくり」をキャッチフレーズに教育活動を展開しています。各学科では、工業技術、特にものづくりへの興味関心と将来の進路達成に向けた職業意識を高めることを目的に、企業や大学等の御協力を得ながら様々な取組を行っています。今年度もコロナ禍の影響があり、例年行っていた工場見学、インターンシップ、出前授業の実施が計画どおりできない状況でした。

しかし、その中でも各学科が多くのことに取り組み、「令和3年度高校生ものづくりコンテスト」では、宮城県大会旋盤作業部門と電気工事部門及び化学分析部門で優勝、電子回路組立部門第2位、令和3年度第21回高校生ものづくりコンテスト2021東北大会「旋盤作業部門」【山形大会】では優勝と電気工事部門第3位に入賞となりました。また、情報技術科の生徒が第16回若年者ものづくり競技大会「業務用ITソフトウェア・ソリューションズ」職種に出場し、金賞（全国優勝）を3年連続で受賞しています。

加えて、ロボットコンテスト2021兼第29回全国高等学校ロボット競技大会宮城県大会で第2位、令和3年度宮城県高等学校ロボット相撲大会で第2位と3位の成績を挙げております。

昨年度の進路状況は就職55%、進学45%でした。今年度は就職が53%（県外は70名）、進学が47%と進学希望者がコロナ禍前より増加しました。就職については11月2日（火）の時点で希望者全員の内定が決定しました。今年度もコロナ禍の影響があり、企業や大学に直接足を運ぶことは難しい状況もありました。しかしながら、生徒全員が今、自分自身ができることを考え実践することに努めました。



県内唯一のキュボラ溶解実習の様子
(機械科)



ものづくりコンテスト
(電子機械科)



ものづくりコンテスト
(電気科)



インテリア製品製作
(インテリア科)



ものづくりコンテスト
(化学工業科)



第16回若年者ものづくり競技大会
(情報技術科)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>